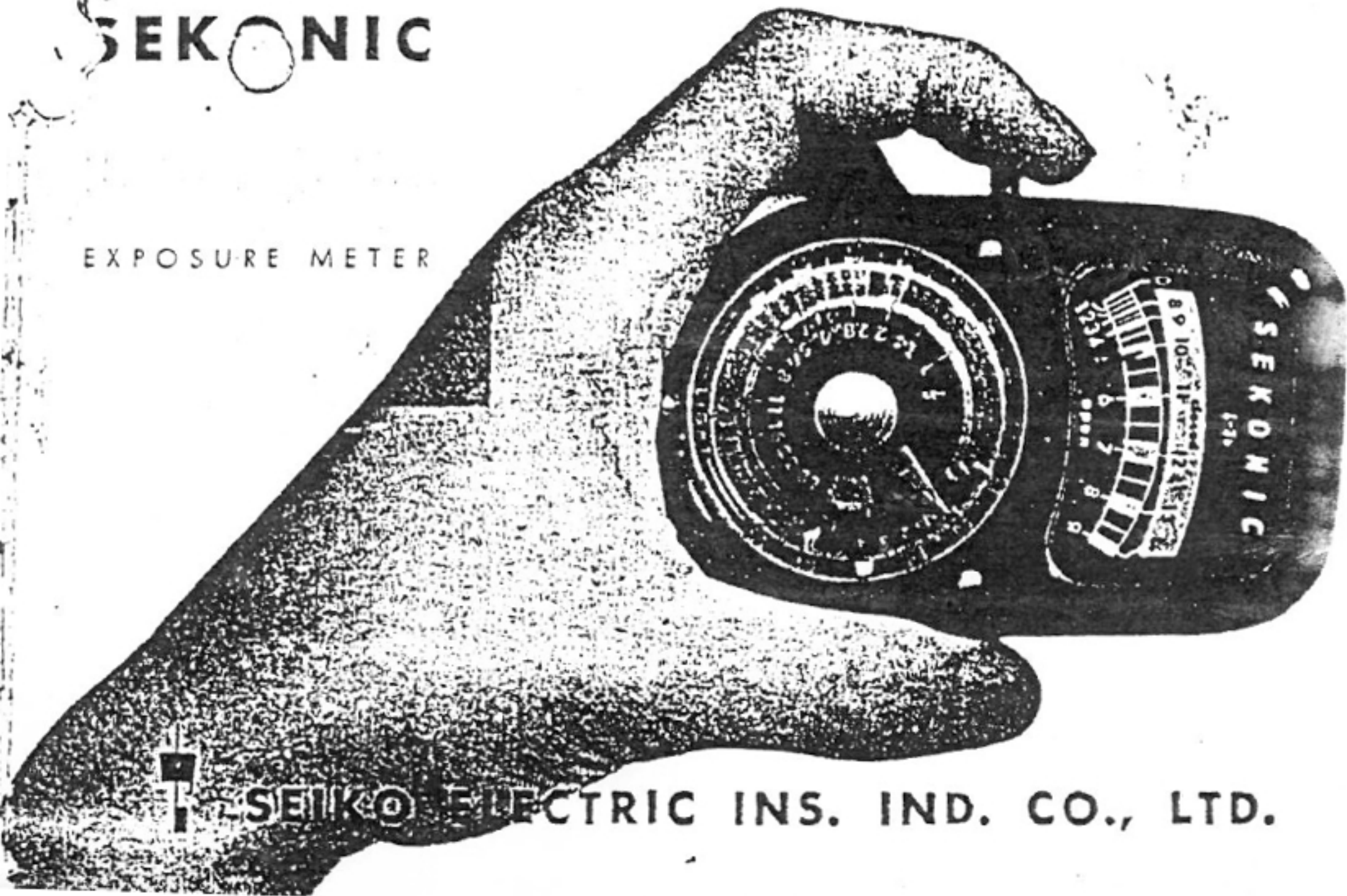


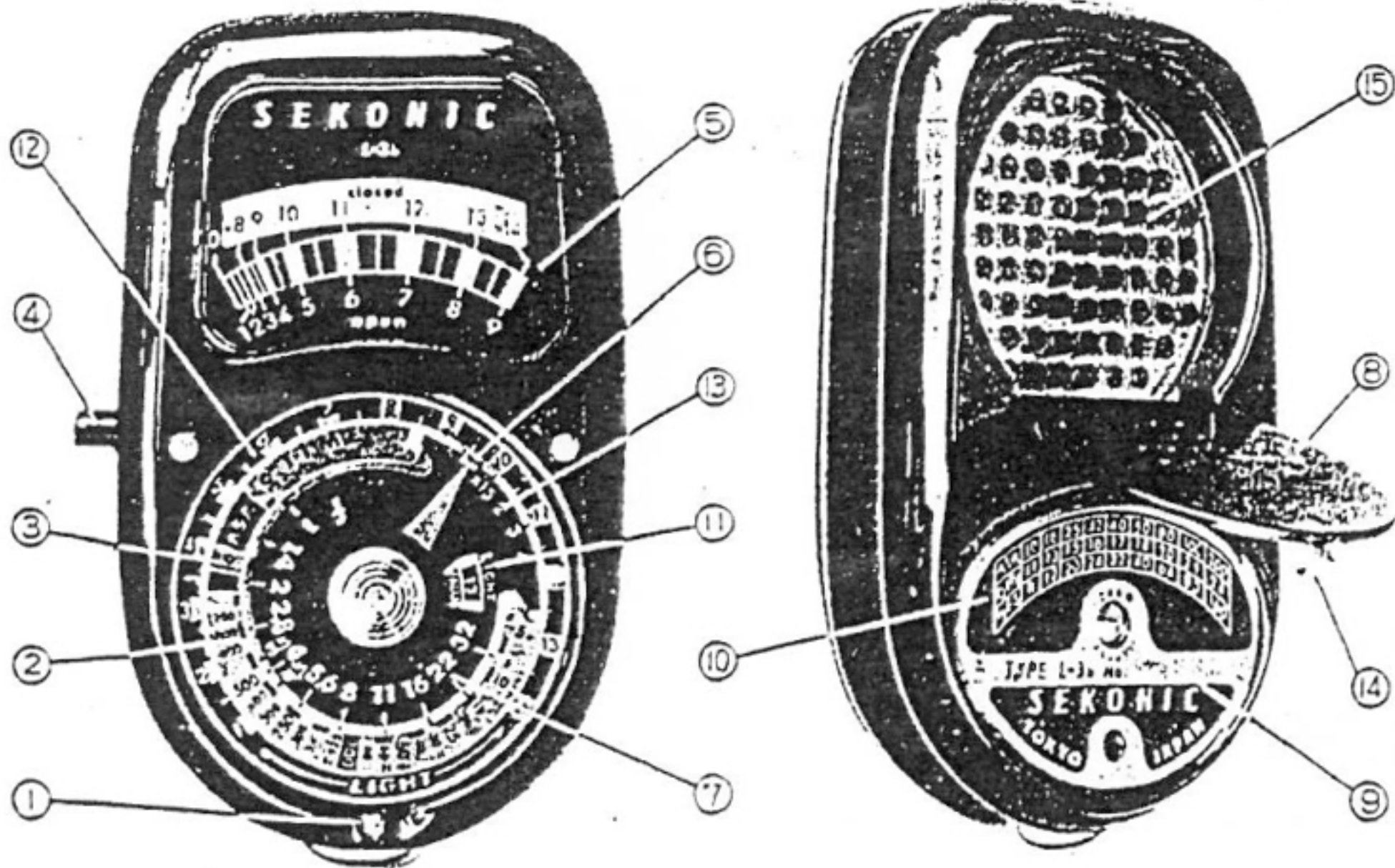
# SEKONIC

EXPOSURE METER



SEIKO ELECTRIC INS. IND. CO., LTD.

セコニックプロフェッショナル L-3b 各部名称





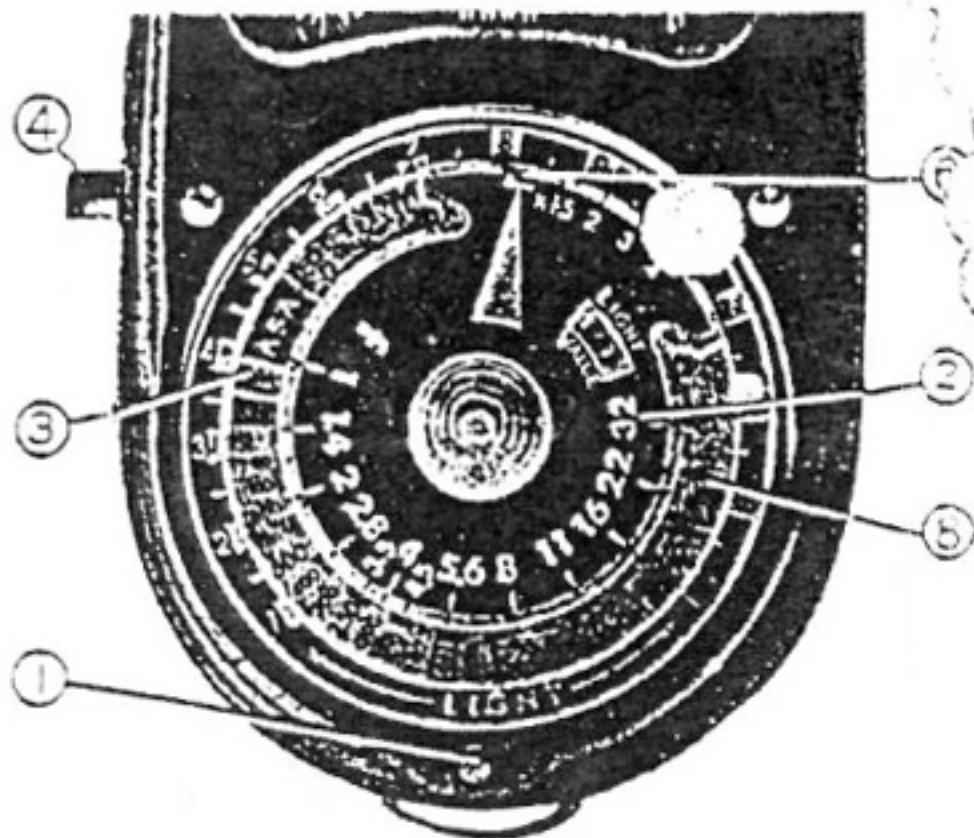
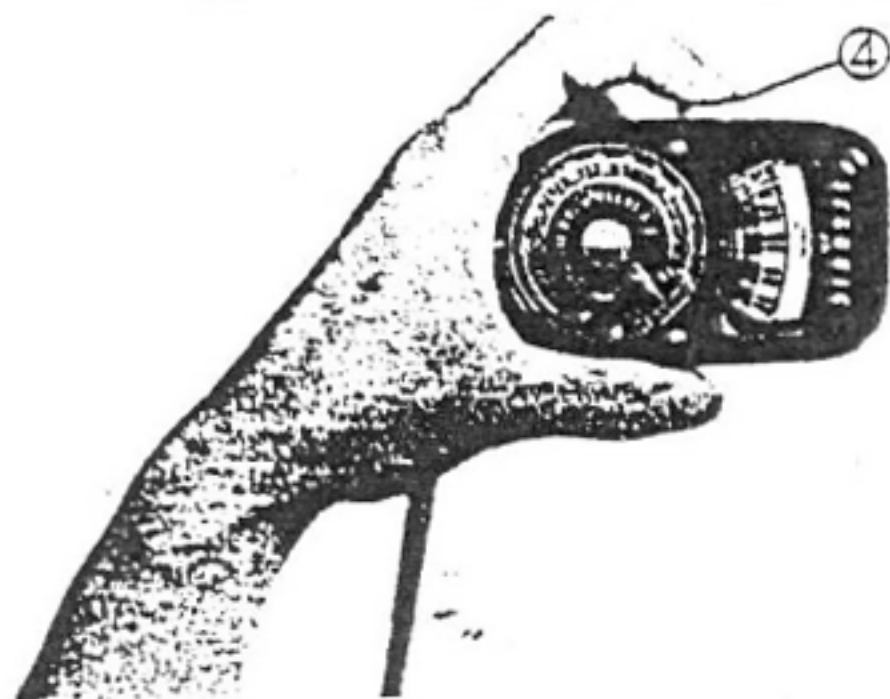
入射アタッチメント



標準フィルター

- ① プッシュボタン
- ② シヤッターダイヤル
- ③ 感光度 (ASA) 窓
- ④ 指針ストップバー
- ⑤ スケール
- ⑥ 矢印
- ⑦ 絞りダイヤル
- ⑧ マルチフィルター
- ⑨ ゼロ調整ネジ
- ⑩ ASA 換算表窓
- ⑪ 光指数窓
- ⑫ ライトダイヤル
- ⑬ フィルター倍数値
- ⑭ つまみボタン
- ⑮ 受光部

## セコニックプロフェッショナルの扱い方



セコニックプロフェッショナルは被写体より反射してくる光線を測って露出をきめる反射式露出メーターです。まずフィルム感光度をメーター下部のプッシュボタン①を押してフィルムの感光度 (ASA) 窓③に正確に合わせて下さい。メーター受光部を被写体に向け、指針ストッパー④を押しますと、被写体の明るさに応じて指針が振れ明るさを指示します。指針ストッパーをはなしますと指針は固定します。マルチフィルター⑧を閉じて測定した場合 (高輝度) はスケール⑤上の CLOSED の数字を、マルチフィルターを開いて測定した場合はスケール上の OPEN の数字を読みとります。スケール上の数字をライトダイヤル⑫に求め、矢印⑥をその目盛に合わせ、絞りダイヤル⑦とシャッターダイヤル②の組合せを見れば、正しい絞りとシャッタースピードの組合せがえられます。

L-3B

L-3b

## 取扱説明書

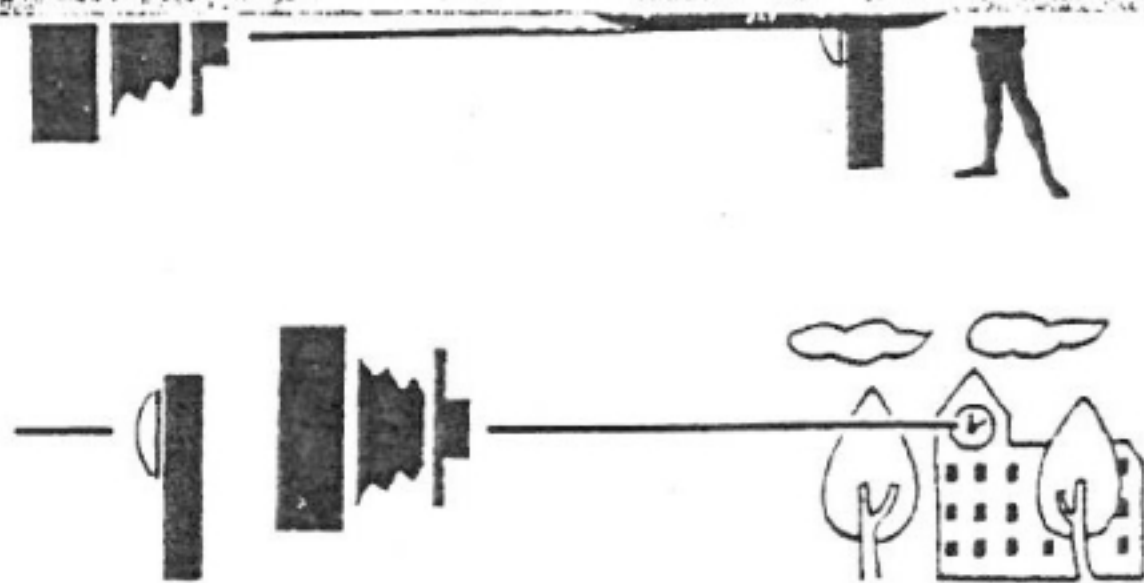
例えば  $f 3.5$  の場合  $1/250$  になり、 $f 8$  の場合  $1/50$  となってもいずれも適正露出となります。マルチフィルターを閉じて使用した場合、指針が  $8$  以上に振れない場合はメーター裏のマルチフィルターをつまみボタン(1)を下方に引きながら開いてから測定して下さい。セコニックプロフェッショナルは入射アタッチメント (INCIDENT-ATTACHMENT) を取付けることにより入射式として測定することも可能です。

入射アタッチメントを取付けた場合のメーターの読みは反射式と全く同じです。

**入射式測定法** セコニックプロフェッショナルは入射アタッチメント (INCIDENT-ATTACHMENT) の使用により入射式の測定が出来ます。

フィルターを使用する場合は、矢印の横にあるフィルター倍数値(2)をライトダイヤル(3)に合わせて下さい。

TACHMENT) を付けて測定する場合は逆に被写体の位置からカメラの方へ正しく受光面をむけて測って下さい。また晴天などで被写体位置とカメラ位置が均一の光に照らされている時はカメラの位置で被写体の反射を計っても同一の値が得られます。



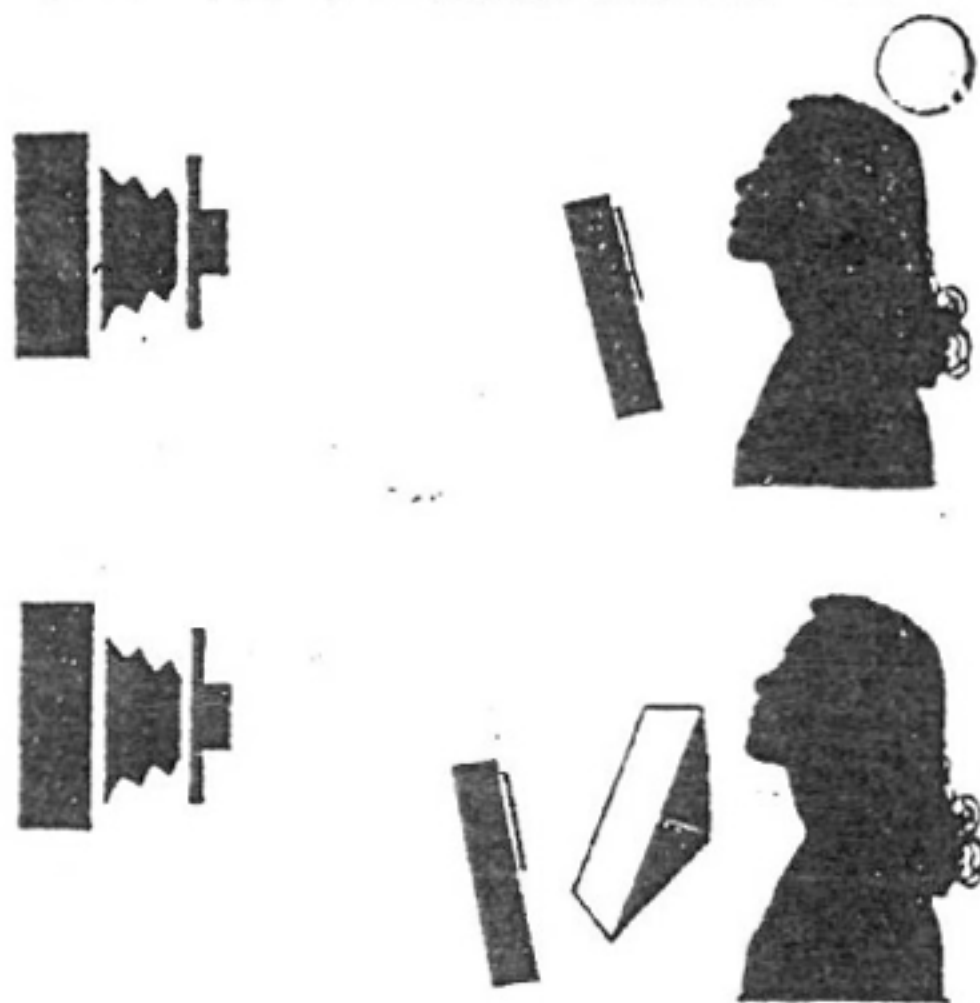
人物の場合(ポートレート)(反射式測定法の場合)



人物を主とした場合には、被写体の背景の空からの光線などが、メーターの受光部に入らないように人物に近づき、約10種の位置から測定して下さい。この場合被写体にメーターの影を落さないようにして下さい。被写体からの反射は顔、衣服などの明暗によりそれぞれ異なりますから、明部、暗部をそれぞれ測り、その平均を出して露出を決定して下さい。なおこの場合セコニック標準反射板を御使用になれば明部、暗部を測りその平均を出す必要は全くなく、つねに平均した露出の値がえられます。



クローズアップ(反射式測定法の場合)



被写体の部分に約10㎝位離してメーター受光部を向けて測定して下さい。なおこの場合被写体にメーターの影を落さないようにして下さい。また標準反射板を御使用になれば便利です。



## 逆光の場合



被写体の暗部を出す時には受光部をカメラに向けた面の暗部に近づけて測定するか、或いは近づいた位置で標準反射板を使用して測定して下さい。

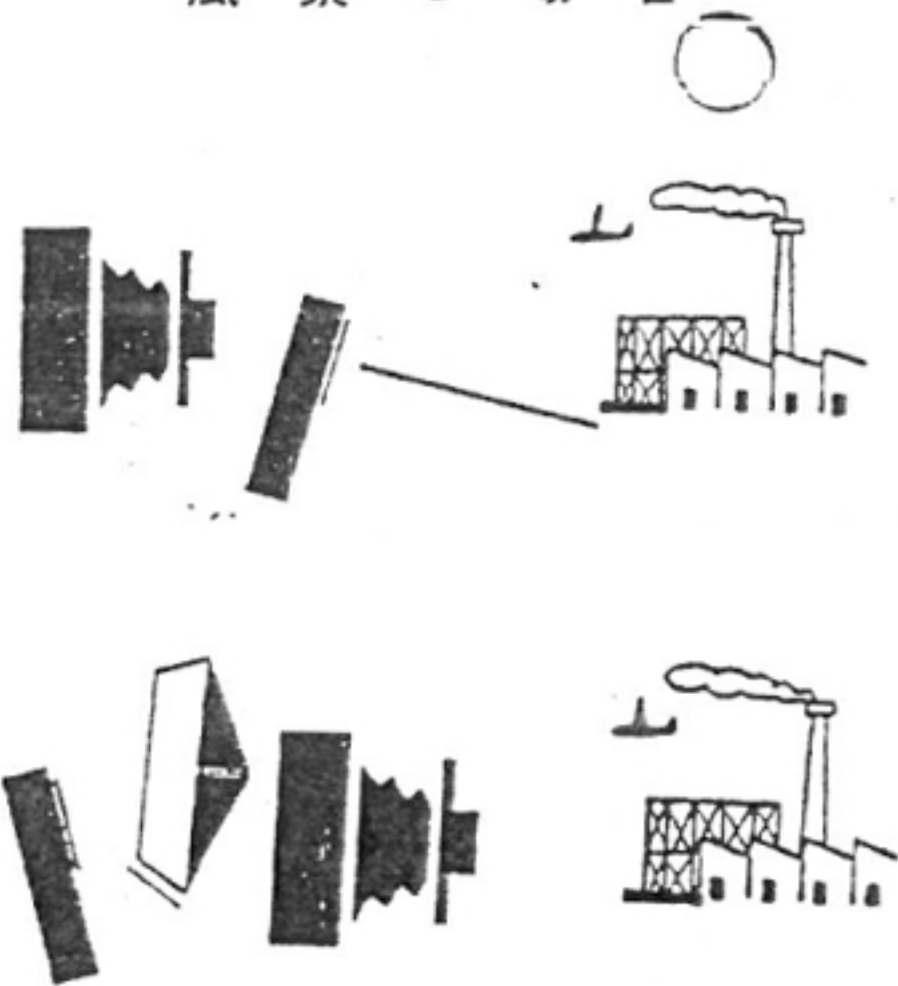
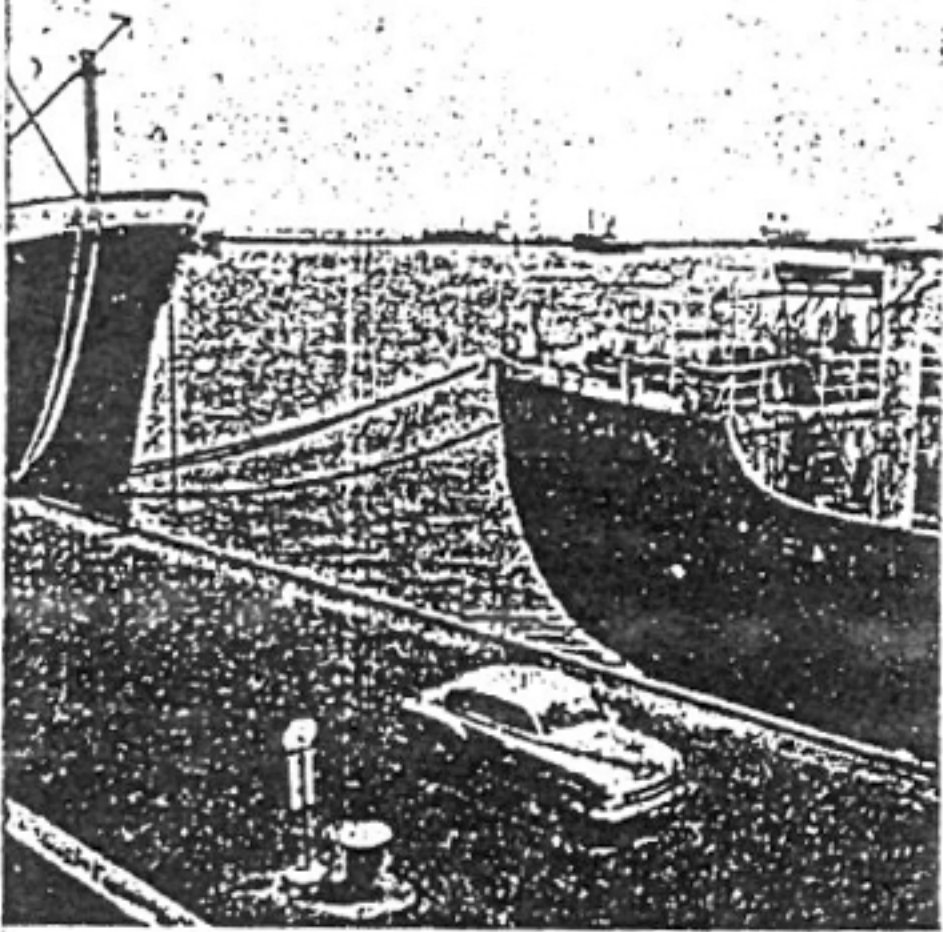


また被写体、背景を共に出したいた時は、被写体の暗部と光源を測りその平均した値をカメラにセットします。



被写体をシルエットにするには、受光部をバックの明るい空などに向けて測定します。

# 風景の場合



空を含む広い風景を撮影する際には、空の光線がメーターに入らないように受光部を手でおよるか、または地平線より下方にメーター受光部を向けて測って下さい。  
なお標準反射板を使用する場合には被写体と同様な照明状態の場所で測定して下さい。

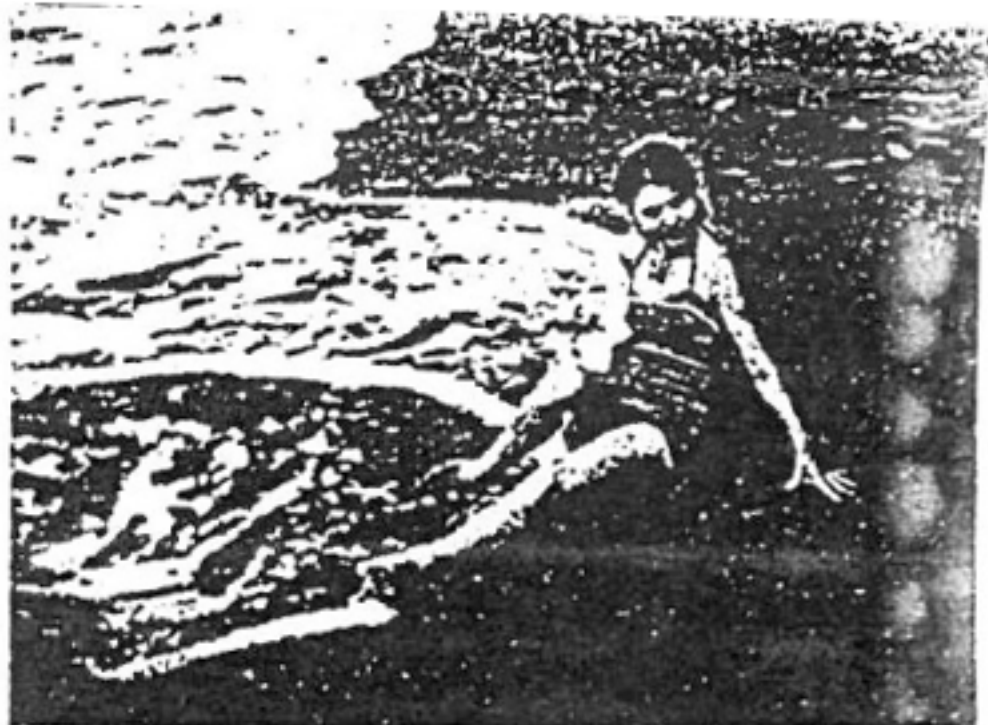
## 海岸、雪中の人物

人物を雪景( )海岸などの光線の強い場所で撮影するには、カメラ位置で露出を測定すると、被写体のまわりをとり囲んでいる物体から必要以上に強い反射光線をメーターに受けまますから、指示された目盛より一段低いライトダイヤルに目盛矢印を合わせてから露出値を読みとって下さい。標準反射板を使用した場合はこの必要はありません。

フィルター使用の場合には、指示された目盛に矢印ではなく、フィルター倍率の目盛線 (13) ( $\times 1.5$   $\times 2$   $\times 3$   $\times 5$ ) を合わせて下さい。

## 非常に暗い場所での測定方法

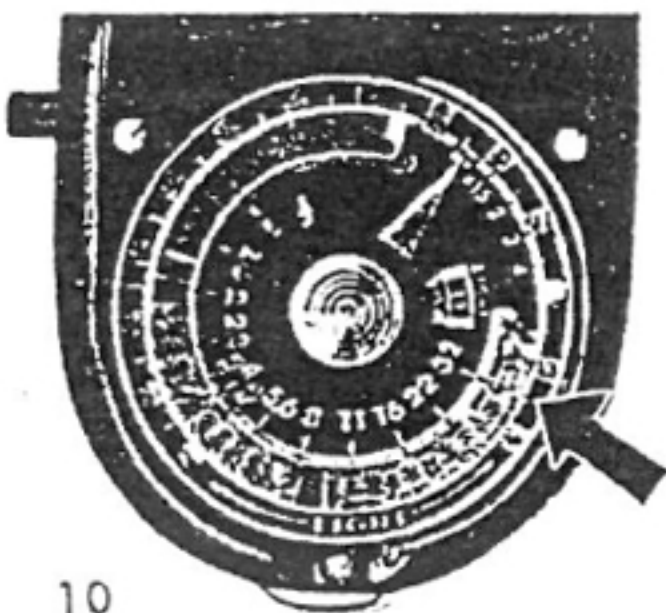
非常に暗い場所では、メーターのマルチフィルターを開き、被写体位置から主光源に向けて測定し、その値の10倍の露出をかけて下さい、例えば f 5.6 で 1/10 秒ならば f 5.6 1/10  $\times 10 = 1$  秒となります。



## カラー撮影



## シネカメラの場合



カラー撮影の際の使用法もモノクローム(白黒)フィルムの時と全く同様であります。カラーフィルムの寛容度はモノクロームに比べ非常に少ないので、 $A$  のセットには充分留意して下さい。

カラー撮影の場合は明るい部分が常に露出の基準となりますが、コントラストを光源の調節やレフの使用などにより、1:4 以内にすることが出来れば美しい画面がえられます。

カラー撮影の場合は入射アングラメントにより入射式で測定するか、標準反射板により測定するのもよい結果が得られます。

美しい色調を得るには精確な露出と同時に、被写体を照らしている“光の質”によって各カラーフィルムに適したフィルターを掛けることが必要です。そのためには露出メーターとカラーメーターの併用が理想的であります。

撮影機の場合の使用法は普通写真の場合と測り方は変わりませんが、ダイヤル操作した後シャッターダイヤル上の CINE のところにある赤字の 8, 16, 32, 64, 駒数の表示の中より使用する撮影機の駒数に向い合つて出た絞りの値を、カメラにセットして下さい。8 ミリシネカメラ駒数は 16 駒、16 ミリシネカメラ駒数は 24 駒が標準です。

## 複写

白黒の印刷物を複写する場合、白い部分を基準にして反射式で露出を決定して下さい。また照明むらをとるには入射光のフラットメントを装着し、印刷面各部の明るさを測定し、均一の照明を得られるようにして下さい。また標準反射板を用いる場合は印刷物の面と標準反射板の面が正しく平行になるようにして測定します。

## 接写

接写の場合は被写体とカメラのフィルム面に写った像との比率によって、メーターで得られた露出値を補正して多く露出をしなければなりません。補正の方法は（拡大率または縮小率+1）<sup>2</sup>=露出補正倍数

例えば拡大率が1倍の時は  $(1+1)^2=4$

即ちメーターの指示が f8 1/60 ならば f8 1/15 で撮影すればよいことになります。

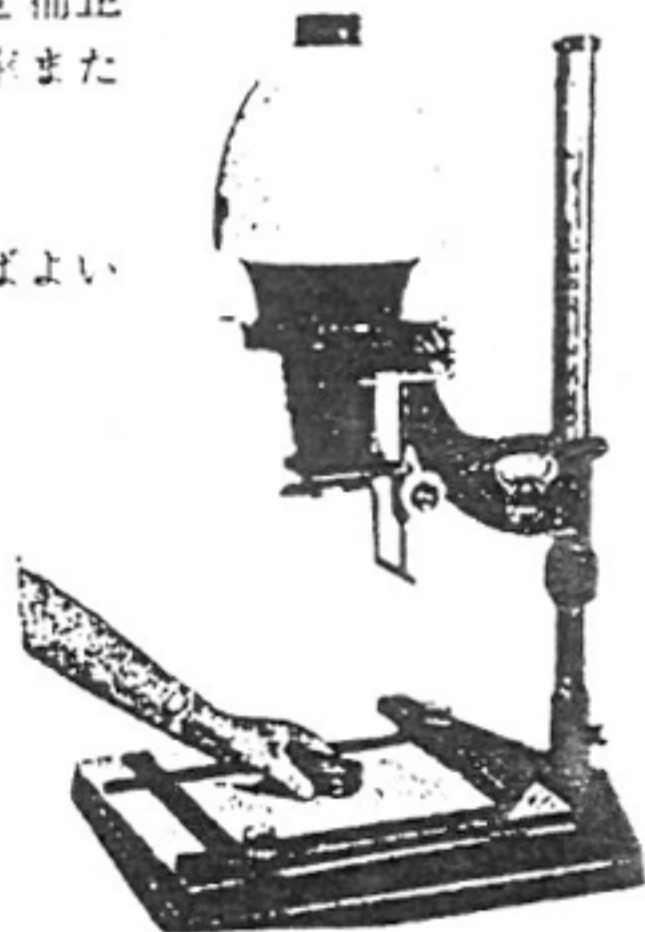
同様に1/2の時  $(1+\frac{1}{2})^2=2.25$  2倍の時  $(1+2)^2=9$

## 引伸しの場合

セコニックプロフェッショナルはストッパーが付いておりますので、引伸の場合

にも利用できます。

引伸機のイーゼル面に受光部を上にしておき（マルチフィルターは開いておく）ストッパーを用いて指針の或る値をよみとり、露出の基準にします。印刷紙の感光指数は解りませんから、測定値と試し焼の結果を照し合わせてデータを各自作られるのもよいでしょう。



## スタンダードリフレクター 標準反射板



被写体の反射光線の明暗の平均を簡単にうるには標準反射板を利用すれば便利です。標準反射板を被写体の面に正しく平行に立て約10種ほどの間隔で反射光をメーターで測りその値カメラにセットします。この場合反射板の上にメーターの影を落さないよう注意して下さい。被写体の位置もカメラの位置も明るさがほとんど同じ場合は、わざわざ被写体のそばまで近寄る必要はありませんから、被写体に近寄ることのできない場合には、被写体と同じ光線状態を選んで標準反射板の反射光を測ります。人工光線の場合は被写体のそばに近寄って測って下さい。屋外と違い必ず場所により明るさが大変異なるからです。展開した風景、山、海など遠景の場合は標準反射板でえられた値を  $1/2 \sim 1/3$  に切りつめてカメラにセットして下さい。またカラー撮影の場合、カラーフィルムは黑白フィルムと根本的にその性質が異り、反射率の違う各部分の色をそのまま発色させるのですから、平均した値である標準反射板で測定した方がよいのです。

### 光指数 (LIGHT・UVALUE) 目盛の使い方

最近カメラによっては光指数式のシャッターのついたものがありますが、そのようなシャッターの使用を便利にするために、セコニックプロフェッショナルは光指数目盛を採用しております。光指数式とは、明るさ  $f1$  のレンズにおいて1秒間に入射する光量を基準として、これを光指数0とし、その半分の入射光量を1として順次半減するごとに2 3 4...としたものです。メーターによる光指数の求め方は、一般露出の求め方と同じ要領で、フィルムの感度被写体の状態をダイヤル上にセットし“LIGHT VALUE”の窓①に現われ光指数をカメラにセットすればよいのです。

## コントラスト測定法

被写体のライト部とシャドウ部に近づいて各々の指針の目盛を読みとります。両方の目盛の差がコントラストを示します。

差	1目	2目	3目	4目	5目	6目	7目
比率	1:2	1:4	1:8	1:16	1:32	1:64	1:128

即ち  $1:2$  (1目差)

例えばハイライト部が8を示しシャドウ部が6を示した時の目盛差は2でありますからコントラストは  $1:2^2 = 1:4$  となります。

カラー撮影の場合はコントラストが1:4以内にならなければなりませんから明部、暗部のコントラストを測って撮影して下さい。

## ゼロ調整

メーター受光部を完全に光が入らないように覆っても指針が0よりはずれている場合にはメーターの押ボタンを押して針が0位置に戻るよう、ゼロ調整ネジを静かに廻して調整して下さい。なおその場合受光部内側に黒い紙をぴったり入れ、マルチフィルターを閉じて調整して下さい。



メーターをお求めになりましたら、すぐに外箱の中に同封されているフアンカードの各項目に記載の上お送り下さい。資料として弊社の台帳に登録させていただきます。その年月日を登録通知書によって御通知申上げその期日から5年間にメーターが自然に具合が悪くなりましたら、当方の専門技師が責任を以て無料修理致します。なおその他の故障も実費で修理致します。

セコニックプロフェ<sup>○</sup>ナルの

- 反射式二段切換
- フィルム感度目盛…ASA 1~16
- 絞り目盛……………f 1 ~ f 32
- シャッター目盛…30秒~1/1200秒
- 光指数目盛……………3 ~ 18
- 入射アタッチメントにより入射式測定可能

発売元 株式会社早苗商会 東京都中央区日本橋本石町3-4 Tel. (24)5828-9・6418・6421

関西発売元 株式会社南光商会 大阪市南区北炭屋町 27 大京ビル内 Tel. (27) 4905

製造元 成光電機工業株式会社 東京都豊島区堀之内町 199 Tel. (97) 1116 ~ 1119